コンピュータ演習 第13回

第12回から第15回までの授業では、「総合的な演習」に取り組みます。

第 12回	映像的なプレゼンテーションの作成(1)
第 13回	映像的なプレゼンテーションの作成(2)
第 14回	プレゼンテーションの相互評価
第 15回	相互評価の結果の集計、まとめ

今回は、前回(第12回)にひき続き、映像的なプレゼンテーションを制作します。

- プレゼンテーションソフトを使って、映像作品を作成しましょう。
- •「情報倫理」を題材に、ストーリー性のある内容で、注意をうながすことを目的にします。
- •「リハーサル機能」を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <u>http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/</u>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

- 1. スライドショーを自動的に再生する
 - ○リハーサル機能(第9回の復習)

今回の課題

- •課題:情報倫理を啓発するプレゼンテーションの作成(前回からのつづき)
 - プレゼンテーションの作成
 - ∘ 評価のポイント

リハーサル機能

- •マウスやキーボードを操作しなくても、アニメーションやスライドの切替が自動的に行われるように設定できます。
- 指定した時間で、スライドの切替やプレゼンテーションが実行されるように設定できます。

スライドショーのリハーサル

「リハーサル」を実行すると、マウスをクリックしたタイミングが記録され、スライドショーを実行したときに、自動的 にスライドショーが進みます。この設定は何回でもやりなおしができるので、じっくりと設定してください。

- 1. 「スライドショー」タブの「設定」メニューの、「リハーサル」をクリック
- 2. リハーサルが開始され、操作が記録される
 - 画面の左上にタイマーが表示される(中央:そのスライドの再生時間、右:スライドショー全体の再生時間)



3. リハーサルが終わると、確認の画面が表示される

○設定する場合は「はい」をクリック



リハーサルのあとのスライドショーの設定

リハーサル機能で、タイミングを設定したら、その設定で繰り返しスライドショーを行うように設定します。



- 1.「スライドショー」タブの「設定」メニューの、「スライドショーの設定」をクリック
- 2.「オプション」に中の「Escキーが押されるまで繰り返す」をチェック

スライド ショーの設定	
種類 ○ 発表者として使用する (フル スクリーン表示)(P)	- スライドの表示 で すべて(<u>A</u>)
○ 出席者として参照する (ウィンドウ表示)(B) ○ 自動ブレゼンテーション (フル スクリーン表示)(K)	リハーサルのタイミングで、 スライドショーを繰り返し再生できる
オブション レ Feerを一が埋たれるまで紹介です())	スライドの切り替え C クリック時(M)
	○ 保存済みのタイミ
アニメーションを表示しない(S)	「神話致モニター

3. 右下の「OK」 ボタンをクリック

第13回の課題:情報倫理を啓発するプレゼンの作成

課題の内容

前回に引き続き、「**情報倫理の選択したテーマに関するプレゼンテーション**」を作成します。

プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報倫理を訴 えるということです。

作品には、次のようなルールを決めておきます。

1. 視聴対象は、高校生から大学生(10歳後半~20歳前半ぐらい)

- 2. スライドの枚数は、6枚以上(多くても8枚まで)
- 3. スライドの構成は、場面ごとに考える
 - ○第1場面:表紙(タイトル、学籍番号、氏名:スライド1枚)
 - 第2場面∶起承転結の「起」
 - 第3場面:起承転結の「承」
 - 第4場面:起承転結の「転」
 - 第5場面:起承転結の「結」
 - 第6場面:まとめ(スライド1枚)
- 4. プレゼン全体を、「30~60秒程度」で再生する
 - ○スライドショーを自動的に実行する「リハーサル機能」(第9回で説明済み)を設定すること
 - ○見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
- 5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる

課題の評価のポイント

次回の授業では、自分の作品を自己評価するとともに、他の学生の作品を評価(相互評価)する予定です。

評価するポイントは次の6つです。あらかじめ評価するポイントに注意して、作品を作成しましょう。

- •(1) 色づかいやフォントの種類などが統一されているか?
 - 文字色や図形の色に、プレゼン全体で統一感があるか
 - 使われているフォントや文字サイズに、プレゼン全体で統一感があるか
- (2) 図形や文字などが見やす (配置されているか?)
 - ○読みやすい文字の大きさか、図形やクリップアートが小さすぎない(大きすぎない)か
- •(3) アニメーションやスライドの切り替えが見やすくなっているか?

○アニメーションや切り替えの速度・タイミングが早すぎない(遅すぎない)か

•(4) ストーリーが選択されたテーマと一致しているか?

○ テーマに合った現実的な話か

- •(5)最後のスライドに対処や注意点がわかりやすく書かれているか?
 - ○内容が具体的でわかりやすいか、正しい情報か
 - 文章が箇条書きか、インデントが適切に設定できているか
- •(6)全体として高校生・大学生1年にとって役立つ内容にまとまっているか?

 ・難しすぎないか、やさしすぎないか

ファイルの保存【注意!】

今回は、「提出用ファイル」と「評価用ファイル」の2つのファイルを保存します。

提出用ファイルの保存

- 1. メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」をクリック
- 2. 保存する場所に「マイドキュメント」を設定
- 3. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)

○例:学籍番号がE2121000の場合、ファイル名は「情報倫理e2121000.pptx」

4. 「保存」ボタンをクリックして、ファイルに保存

評価用ファイルの保存

1. メニューから「ファイル」「保存と送信」をクリック

- 2. ウィンドウ中央の「保存と送信」から、「ファイルの種類の変更」をクリック
- 3. ウィンドウ右側の「ファイルの種類の変更」から、「PowerPointスライドショー(*.ppsx)」をダブルクリック
- 4. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.ppsx」を設定(半角文字で)

○ 例: 学籍番号がE2121000の場合、ファイル名は「情報倫理e2121000.ppsx」

5.「保存」ボタンをクリックして、ファイルに保存

課題の提出方法

提出用ファイルの提出

保存できたら、eラーニングのシステムにアップロードして、課題を提出します。

- 1. 『第13回の課題』をクリック
- 2.「参照」ボタンをクリックして、ファイルの一覧を表示
- 3. 保存した提出用ファイル(拡張子に注意!)をクリックして選択した後、「開く」ボタンをクリック
- 4.「ファイルをアップロードする」ボタンをクリックし、「ファイルが正常にアップロードされました」と表示されたら提出完了

評価用ファイルの提出

つづいて、評価用ファイルも提出します。eラーニングの掲示板機能を利用します。

- 1. 「制作したプレゼンテーションの提出・閲覧」をクリック
- 2. 自分の選択したテーマのトピック(専用の場所)をクリック
- 3. 一番上の授業担当者の記事にある「返信」をクリック
 - ○「題名」は、自分の学籍番号と氏名を入力する
 - 「メッセージ」の入力欄に、ストーリーの紹介文(2行程度)と作品のアピールポイント(工夫したところや苦労したところなど)
 (2行程度)を入力する
 - ○「添付ファイル」の「参照」ボタンをクリックして、ファイルの一覧を表示したあと、評価用ファイル(拡張子に注意!)を選択 する
- 4. 「メッセージ」と「添付ファイル」を設定して、「フォーラムに投稿する」ボタンをクリックしたら提出完了

課題の期限

- 原則として、今回の授業終了までとします。
 - ○もし間に合わない場合は、事前に授業担当者に連絡すること。
- •もし提出が遅くなっても、必ず提出すること(ただし成績に影響する場合があります)。